

日建・レンタコムカップ

第27回全日本学生女子ヨット選手権大会

開催地	愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖
大会期間	平成30年9月21日(金)～平成30年9月24日(月)
共同主催	全日本学生ヨット連盟、中部学生ヨット連盟
公認	公益財団法人日本セーリング連盟【H30-12】
後援	蒲郡市、蒲郡市教育委員会、愛知県ヨット連盟、日本470協会、日本スナイプ協会
特別協賛	日建・レンタコムグループ、日建レンタコム株式会社、日建リース工業株式会社、日建片桐リース株式会社
協賛	明治商工株式会社、株式会社伊藤園、蒲郡市観光協会
協力	豊田自動織機海陽ヨットハーバー、蒲郡温泉 平野屋

レース公示

「SP」 レース委員会から審問なしにまたは、プロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティが課せられる。
「NP」 艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則60.1(a)を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は「セーリング競技規則 2017-2020」(以下、規則という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 規則の定義にある規則(g)には全日本学生ヨット連盟にて入手することができる以下の文書が含まれる。
 - (1) 全日本学生ヨット連盟規約
 - (2) 470級学連申し合わせ事項
 - (3) スナイプ級学連申し合わせ事項
 - (4) 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項
- 1.3 付則Pの「セール番号」を「艇体番号」に置き換え適用する。
- 1.4 SCIRA規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 競技種目

470級、スナイプ級

3. 資格及び参加申し込み

3.1 参加資格

- (1) 加盟大学に学籍があり、入学してから4年以内の女子で、エントリー表に登録済であること。
- (2) 複数の艇へのエントリーは認めない。
- (3) 選手及び監督・コーチは2018年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (4) スナイプ級の選手は2018年度SCIRA登録済であること。
- (5) 各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学のチームであること。

各水域の推薦枠は両クラスとも、各水域の予選エントリー数のパーセンテージにより与える。
詳細については以下のとおりとする。

予選エントリー数	推薦枠数
7艇以下	全艇
8艇以上14艇以下	予選エントリー数の80%、小数点1位を繰り上げた艇数
15艇、16艇	12艇
17艇以上	予選エントリー数の70%、小数点1位を繰り上げた艇数

※ 但し、参加艇数が各クラス35艇に満たない場合は、各水域の代表者の推薦により大会会長の承認を得た上で、エントリーを認める場合がある。

3.2 エントリー

エントリーは各艇ヘルムスマン1名、クルー2名以内とする。

3.3 参加申し込み

- (1) 参加資格のあるチームは、申し込み書類一式を参加料の振り込みを含め平成30年7月21日(土)必着で下記メールアドレスに送ることにより参加申し込みすることができる。

① 参加申込書1、参加申込書2(競技者名簿)、参加申込書3(支援艇許可申請書)。

※ 1. Excel形式のまま提出のこと

2. スナイプ級の競技者は、SCIRA会員番号を参加申込書2に記載のこと

② 参加料の振込み書の写し。

③ 参加申込書に記載した競技者全員および監督、コーチが『2018年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。

これは(公財)日本セーリング連盟のホームページよりダウンロードすることができる。

- (2) 送付先は右のとおり。 全日本学生ヨット連盟 女子委員長

E-mail : alljapanyacht.woman@gmail.com

4. 参加料

1艇 20,000円

識別番号料 2,100円

振込先は右のとおり。 三菱東京UFJ銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 0090143
中部学生ヨット連盟 会長 石倉 俊宏

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

上記参加料には、大会期間中の9月22日から9月24日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。

豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料及び、大会期間外の給水設備使用料は、各チームの責任でヨットハーバー事務室に支払うこと。

5. 使用艇、セール

5.1 使用艇

- (1) 470級は2018年団体登録を完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。
(2) スナイプ級は2018年度SCIRA登録が完了し、かつ本大会の計測を完了していること。
(3) 艇の交換は破損による場合のみとし、事前にテクニカル委員会の許可を得なければならない。
新たに使用する艇は大会計測を完了していなければならない。

5.2 セール

- (1) 両クラスとも、1艇に1セットのセールの登録、および1セットの予備セールの登録を認める。
(2) 470級のセールは2018年の各水域での大会計測を完了していなければならない。
また470クラス協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。
メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
(3) スナイプ級のセールは2018年の各水域での大会計測を完了していなければならない。
また2018年度SCIRAに登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
(4) 両クラスとも予備セールを含み、同一のセール番号を複数の艇で登録してはならない。
(5) セールの交換は破損による場合のみとし、事前にテクニカル委員会の許可を得なければならない。

6. 日程

6.1 日程

9月21日 (金)	10:00 ~ 16:00	受付・登録、計測
9月22日 (土)	08:00 ~ 09:30	受付・登録、計測
	09:45 ~ 10:15	ブリーフィング
	11:00 ~ 11:30	開会式
	13:00	470級予告信号
	引き続き	スナイプ級予告信号
9月23日 (日)	08:15 ~ 08:30	ブリーフィング
	09:30	470級予告信号
	引き続き	スナイプ級予告信号

9月24日(月) 08:15～08:30 ブリーフィング
 09:30 470級予告信号
 引き続き スナイブ級予告信号
 16:30 表彰式 レセプション・パーティー

9月22日(土) 23日(日)は 15:31より後に、24日は 11:31より後に予告信号は発せられない。

6.2 予定されるレース数は次のとおりとする。

日程	470級	スナイブ級
9月22日(土)	3	3
9月23日(日)	3	3
9月24日(月)	2	2
合計	8	8

本大会で計画された全レースを行うため、当日までの計画に対して1レースを越えないまで、レースを前倒して行う場合がある。

7. 受付

参加チームは提出を求められた場合、次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- ① 470級は INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM (原本)の提示。
 ただし、2011年7月29日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書の提示。
- ② スナイブ級はスナイブクラス計測証明書の提示。

8. 計測

- 8.1 艇は計測前に、受付時に交付される識別番号を【添付図A】にある位置に貼りつけなければならない。
- 8.2 参加チームは、艇体およびセールについて、イクイップメント・インスペクターとして指定する各水域のオフィシャル・メジャーによる本大会の事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。
- 8.3 本大会の事前計測は、平成30年8月12日(日)以降に実施されなければならない。
 「大会計測完了証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 8.4 各日の最後のレース終了後、海上にてテクニカル委員会に呼ばれた艇は、指示に従いインスペクションを受けなければならない。

9. 帆走指示書

- 9.1 帆走指示書は8月31日(金)までに、出場大学に送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページに掲載する。
- 9.2 帆走指示書に対する事前質問は、9月15日(土)までに参加申込み送付先にメールで提出のこと。
 事前質問に対する回答は、9月22日(土)のブリーフィングまでに公式掲示板に掲載する。

10. 開催地

【添付図B】はレース・エリアの場所を示す。

11. コース

【添付図C】の見取図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

12. 得点

- 12.1 大会の成立には、1レースを完了することが必要である。
- 12.2 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とする。
 6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 12.3 総合順位は、両クラスに各1艇以上参加した大学を対象とする。
 各大学で最も順位の良かった各両クラス1艇ずつのシリーズ得点を加算して総合得点とし、総合得点の少ない大学を上位とする。

- 12.4 2大学以上でタイがある場合、総合得点の対象となった両クラスの各々のレースの得点を合算したものを規則A8にある得点に読み替えてタイを解く。
470級とスナイプ級で完了したレース数が異なる場合、どちらかのクラスのみ完了したレースの得点は用いない。

13. 支援艇

- 13.1 支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇する全ての艇を指す。
- 13.2 支援艇のある大学は、受付時に「参加申込書3」として提出した「支援艇許可申請書」の写しを提示することにより、「支援艇許可書」を受け取ることができる。
- 13.3 「NP」「DP」豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- 13.4 「NP」「DP」支援艇が乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い使用料を支払わなければならない。
一時的に入港した支援艇は、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。
- 13.5 「NP」「DP」支援艇は水上にいる間、大会本部で貸与する『識別用リボン』を水面より1.5m以上の高さに掲揚するとともに、大会本部で支給される『大学名を記した表示』を外部より視認できるように掲示しなければならない。
- 13.6 「NP」「DP」支援艇は、レース委員会およびプロテスト委員会の通信を傍受してはならない。

14. 賞

賞は次のように与えられる。

- | | |
|-------------|--|
| 14.1 総合1位 | 全日本学生ヨット連盟会長盾 (持ち回り)
総合優勝旗 (持ち回り)、賞状、賞杯 |
| 総合2位、3位 | 賞状、賞杯 |
| 14.2 各クラス1位 | 関山杯、優勝旗 (持ち回り)、賞状、賞杯 |
| 各クラス2位、3位 | 賞状、賞杯 |
| 各クラス4位-6位 | 賞状 |
| 14.3 最優秀選手賞 | 関山恭子記念賞旗 (持ち回り) |

15. 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則4『レースをすることの決定』参照。
主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16. 大会期間中の肖像権

大会期間中の艇、選手に関する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。
これらはホームページに掲載されることがある。

17. 問合せ先

問合せ先は右のとおり。 中部学生ヨット連盟 副委員長 兵藤 麗奈
E-mail : chubu.icyf@gmail.com

【添付図A】



470級 : 黒色の識別番号
 スナイプ級 : 赤色の識別番号

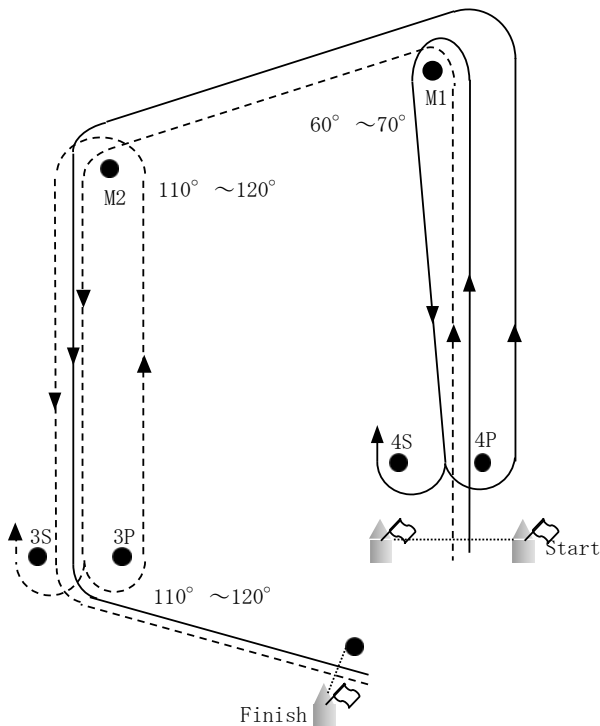
貼付け位置の若干の誤差は許容される。

【添付図B】



N 34. 47. 183 E 137. 16. 017を中心とした、φ1.4NMをレース海面とする。

【添付図C】



コース O : 破線

スタート → M1 → M2 → 3P/3S → M2
 → 3P → フィニッシュ

コース I : 実線

スタート → M1 → 4P/4S → M1 → M2
 → 3P → フィニッシュ